

第2回富山県ひとり親家庭等自立促進計画検討委員会議事概要

1 日時 令和7年1月29日(水) 10:00~11:20

2 会場 富山県民会館 704号室

3 出席委員 委員名簿のとおり

4 内容

(1)議事1について

事務局より説明

(2)委員からの主な発言

- ・大学受験料等支援はありがたい。補助限度額があるとはいえ、自分が受けたい大学を受けられることにつながると思う。
- ・母子生活支援施設について
 - ・本文中にもう少し詳しく、具体的な記述があったらよかった。
 - ・民間のアパートの借上げなど、今ある資産を有効利用するのも必要ではないか。
 - ・施設設置となると、かなりハードルが高いと感じる。入所理由が配偶者の暴力の場合に県外施設に行かれるのは仕方ないが、そうでない場合など住み慣れたところで生活できればと思う。
- ・日常生活支援事業について
 - ・ひとり親が思いきり働くためには重要。ぜひ他の市町村にも取り組んでほしい。
 - ・市町村との連携など県にはもっとしっかり取り組んでほしい。
 - ・今ある民間の制度を無料で利用できるようにするなど、直接的に助けてあげられる施策ができないか。
- ・離婚前、離婚を検討する段階からの支援が必要という委員の意見を踏まえ、施策の方向性に盛り込まれている。養育費確保など離婚前からの情報提供が重要と思うので、方向性が示されていることについて、現計画から見ても進んでいると思う。
- ・職業訓練について、ひとり親に対して特別になると難しいかもしれないが、今ある訓練機能を使うことで今の生活から少し改善を図るという考え方は可能と考える。
- ・ひとり親家庭に対する支援策について、教育関係者や職場の上司・雇用主など一般的に周知し、理解協力を求めるような形を進めていけばいいのではないか。
- ・広報やSNSを通じて、必要な人に支援を伝えたい。
- ・計画や支援施策、関係機関のネットワークなどについて、リーフレットやサイトでの周知で当事者や周りの方に実感してもらえるようになったらいい。